

「相手が自分の意見に賛成！」でないときの対応シート

(年 月 日)

前提 = すべての人が「諸手を挙げて賛成！」はない

どちらかが押し切る・あきらめるではなく、新しく何かを得られたか、創れたかを測ること

！	立ち止まる	あ、諸手を挙げて賛成！ではないのだな、と感じたら、まずは立ち止まる。すぐに感情的・論理的に反論、説得しようとしな
確認する	現状	ここでの前提は何か？ その前提は共有しているのか？ どこまでは賛成なのか？
	見解	どこの意見や見解が違うのか？ 「～については同じ意見だけど、××についての意見が違うわけですね」と確認
	理由	相手の意見や見解の理由、根拠を聞く。「～だと考えているからですね」とオウム返しで確認する。
考える	ストップ	「少し考える時間を下さい」と言う。
	自分の立場・思い	自分はそのに対して、どのような思いを抱いているのか、自分にとっての位置づけや前提は何なのかを伝える。ここを明らかにしないで議論することが多い
	譲れない部分	自分にとって絶対に譲れない部分はどこかを考える
	相手の意見	自分の意見を suspend して、相手の意見や見地を考え、視野の広がりや違った角度などで、自分の考えに資するところを考える
	ひっかかり	そのものではなく、ひっかかっている部分がきっとあるので、まずは自分に対して明らかにする
伝える	確認	相手の意見と根拠を確認する
	自分の意見・見解	そのうえで、自分の意見や見解を伝える
話し合う	提案	どちらが強いか、ではなく、第3のよりよい道を提案する。またはそういう道を一緒に考えることを提案する
	共創	1 + 1 = 3 または、まったく次元の違うオプションの可能性を探る
振り返る	評価	0：結論は自分の提案そのまま、または相手の提案そのまま、しかも自分は何も新しい考え方や情報を得ていない(いずれかが力で組みした場合) 1：結論は自分の提案そのままだが、立ち止まって相手の見解などから学ぶことはできた場合) 2：結論は、両者の見解の歩み寄りまたはパッチワークとなった 3：結論は、両者が最初に持ち寄ったものとは違う新しい次元のものとなった

